

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>国語</p> <p>○自分の書いた文章を読み直したり、他の文章のよい点を取り入れて書いたりすることへの意識が高まってきている</p> <p>▽目的意識や相手意識をもって、読んだり書いたりすることが苦手な児童が多く見られる。また、最後まで集中して話を聞き、話の要点を捉えようとする意識も高めていきたい。</p> <p>算数</p> <p>○用語や公式などの意味、計算など、基礎的な知識・技能の習得は概ねできている。さらにこれらを活用し、適用・応用問題への取り組みを重ねていく。</p> <p>▽説明を要するような記述式の問題を苦手とする児童が少なからずいる。立式ができて、式を導き出した考えを説明したり、図や数直線などを用いて立式や考え方の説明をしたりすることができるように指導する。</p>	<p>●今後も文章を書く機会を多く取り入れ、自分の気持ちを的確に表現する語彙を豊かにしていく。他教科においても、自分の考えをすすんで書く活動を取り入れたり、総合的な学習の時間での話し合い活動などでも意見を交流する場を意図的に設定したりして、自分の思いや考えを伝える活動を多く取り入れていく。</p> <p>▼文章を要約することや情報を取捨選択しながら読み書きする学習活動を取り入れた授業を計画的に行っていく。 自分の伝えたいことや知らせたいことを明確にしたり、相手の話の要点を捉えながら聞いたりする活動を計画的に進めていく。</p> <p>●単元ごとに学習進度に合わせて、ベーシックドリルを活用した反復練習を継続して行い、基礎的な知識・技能の定着を図っていく。</p> <p>▼自分の言葉で説明する問題を苦手とする児童へは、記述式の問題などに取り組む機会を多く取り入れ、表現力が身に付くように今後の学習計画に取り入れていく。 ICTを活用し、視覚的に理解できる教材提示を取り入れた授業を行い、説明の仕方を身に付けるように学年ごとに学習計画を立てていく。</p>

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
	<p>●</p> <p>▼</p>